

# いのちの輝き

2019  
July

52号



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL  
宮城県立こども病院

発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院



## こども病院開院15周年を 迎えて

理事長・院長 今泉 益栄

2003年(平成15年)11月開院の宮城県立こども病院は、15周年を迎えました。公設民営型病院(88床)で始まり1年半後にフルオープン(160床)した後、2つの大きな事業(2006年4月:地方独立行政法人移行、2016年3月:拓桃医療療育センター統合)を成し遂げて、現在は小児の急性～慢性期の医療・療育、リハビリテーション～在宅医療をカバーする医療・福祉施設(241床)に成長しました。

2010年と比べると外来患者数と入院患者数は各々1.7倍と1.5倍に増え、病院職員数も同程度(常勤職員数1.7倍、医師・歯科医師数1.4倍)増加しました。診療面では、県外入院患者比率(平成30年度、16.8%)と年間救急外来患者数は(同、2,124人)は共に緩やかな増加傾向にあります。また、病院ボランティア登録人数は2007年に101名まで減少しましたが、その後関係者の努力により回復し、前年度の月平均登録人数は263名となりました。

思い起こせば、患者家族や医療・行政関係者の支援を得て1993年「宮城県母子総合医療センター設立推進協議会」が設立され、1997年3月の県民署名運動(199,303人)が設立の大きなインパクトになりました。この紙面を借りて御尽力いただいた多数の方々に感謝致します。

昨年9月、こども病院は第3回目の病院機能評価を受審しました。その結果、療養環境、多職種協働及び手術・麻酔機能において「S評価」をいただきました。病院設立を目指して掲げられた2つの理念「すべての子どもにいのちの輝きを」「元気のでるファミリーホスピタル」が具現化しているものと嬉しく思います。15周年を迎え、こども病院は今後もこの歩みを継続してゆきたいと考えています。

### 病院理念

- ・私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います。
- ・私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います。

### 病院の基本方針

1. チーム医療、成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
2. こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
3. 一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
4. 小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
5. こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
6. 自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
7. 臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
8. 職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

### Contents

|              |   |
|--------------|---|
| 各診療科アピールポイント | 2 |
| 拓桃園紹介        | 3 |
| 地域医療連携室だより   | 4 |
| 部門紹介         | 5 |
| ボランティア紹介     | 6 |
| 行事予定         | 6 |
| 編集後記         | 6 |



当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。



## 腎臓内科

腎臓内科科長 稲垣 徹史

現在は科長稲垣のもと、木越医師が加わり2名体制で診療にあたっています。小児腎疾患については、検尿の異常から腎炎、ネフローゼ、急性、慢性腎不全と腎移植術以外ほぼ全てに対応しています。腎炎の診断に欠かせない腎生検については年10～20件程度、病理の武山先生にご協力いただき、必要最小限の手技で行い、診断から治療まで一貫した対応を行っています。また、水腎症や膀胱尿管逆流症などの泌尿器疾患についても、泌尿器科と共同で診療しています。小児の急性血液浄化については全国でも有数の症例数があり、新生児から成人に近い体格まで、また通常の透析、濾過透析から血漿交換、白血球除去、エンドトキシン吸着まで対応しています。維持透析としての腹膜透析についても、新生児から対応可能で、小児外科にカテーテルを挿入していただいています。現在数名の透析を行っており、他県からも患者を受け入れています。

また、電解質の異常などにつき、きめ細かい対応と補正を行っております。

腎疾患については、全て対応可能ですので、お気軽に声をおかけください。

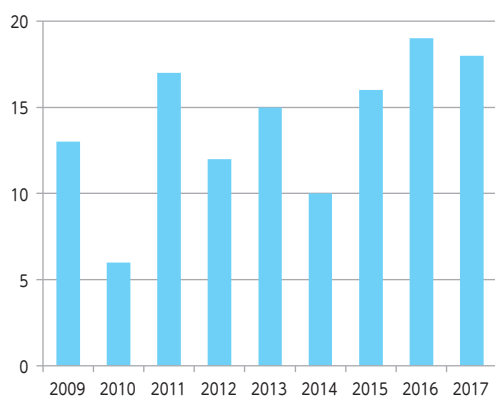


図1 腎生検件数

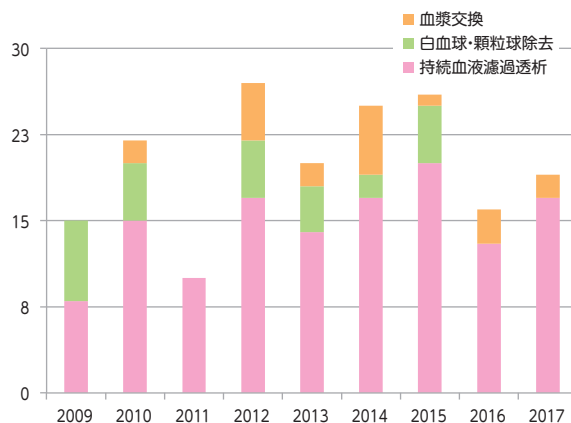


図2 急性血液浄化件数



急性血液浄化の様子



## 言語聴覚療法 (ST) 部門について

リハビリテーション・発達支援部 副技師長・STリーダー 小林 香

拓桃館2階の西側に5つのお部屋があり、そこが言語聴覚療法室です。言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist:ST)は現在5名です。

コミュニケーションやことば、食べることに心配のあるお子さんを対象としています。また週に2回は耳鼻いんこう科できこえの検査も担当しています。コミュニケーションやお食事はお子さんひとりではできません。お子さんの発達を促すとともに、ご家族も楽しく自信を持って子育てができるように具体的に支援することを心がけています。

外来や本館入院のお子さんはご家族と一緒に療法を行うことがほとんどですが、医療型障害児入所施設である拓桃園に入所されているお子さん達は親元を離れ単独での入院生活です。お子さんと一対一でコミュニケーションやことばの発達を促す関わりを行っています。音声言語だけではなく、絵カードや写真カードなどそのお子さんがわかる、できるコミュニケーション方法を考え、実際に使いながらひとと楽しくコミュニケーションできる経験を多く持てるよう工夫しています。また食事やおやつなど実際に食べる場面でも積極的に療法を行っています。食べることが上手になっていくような関わりだけではなく、食事場面はお子さんからの発信を多くキャッチできる大切なコミュニケーションの時間と考え、「どっちが食べたい?」「一口だけ食べたら、好きなこっちを食べようよ」などお子さんの何らかの発信を受け止めこちらの希望を伝え、折り合いをつけていくようなやりとりをしながら楽しい食事になるように心がけています。

親子入院では離乳食の進め方や食事に関する問題を主訴に入院される親子が多くなっています。行動療法を取り入れた関わりなども積極的に行っており、医師、病棟看護師、保育士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士などと、食事形態や姿勢、介助方法、食事環境について情報共有を行い、生活スケジュールの見直しなど生活全般を見据えた支援を行っています。

今後も各部署と力を合わせて、お子さんもお子さんご家族も笑顔で日々が過ごせるように日々努力していききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



前列左から松崎、畑崎、後列左から藤井、小林、阿部







# 地域医療連携室だより

## 緊急で当日の受診を必要とする患者さんのご紹介について

登録医療機関・かかりつけ医・地域の医療機関の先生より、当日当院での急ぎの受診（もしくは入院）が必要な患者さんをご紹介いただく場合、まず電話でご一報をお願いいたします。

病院代表 TEL 022-391-5111へお電話をお願いします  
〈電話交換手に「緊急です」とお申し出ください〉

該当診療科医師もしくは救急当番担当医（内科系医師）におつなぎします  
※時間外での緊急の診察依頼は、時間外窓口（防災センター）でお受けします  
病院代表 TEL 022-391-5111

## 内分泌科・耳鼻いんこう科・児童精神科について

当院では、現在非常勤医師の診療科のうち、内分泌科・耳鼻いんこう科・児童精神科は、原則として院外からのご紹介はお受けしておりませんので、どうぞご了承ください。

## 地域医療研修会のご案内

### 第11回「七夕の集い」

本年も、研修会と交流会を兼ねた第11回「七夕の集い」を下記内容で開催予定です。登録医療機関や関係機関には、すでにご案内をさしあげておりますが、それ以外の先生方のご参加も歓迎いたしております。その際は、当院地域医療連携室へお申し込みいただけますと幸いです。

開催日時／令和元年7月3日（水）19:00～21:00

開催場所／江陽グランドホテル（仙台市青葉区本町2-3-1）

講演内容／①「小児の消化管内視鏡（小腸内視鏡を中心に）」

消化器科 部長 角田 文彦

②「脊髄髄膜瘤の治療と予防」

脳神経外科 部長 君和田 友美

③「宮城県立こども病院における抗菌薬適正使用の取り組みと成果」

リウマチ・感染症科 医長 桜井 博毅（感染管理室副室長）

※講演会は19:00から、交流会は20:00からを予定しております。



## 第2回抗菌薬適正使用研修会

開催日時／令和元年7月5日(金)18:00～19:00

開催場所／宮城県立こども病院 本館 1階 愛子ホール

講演内容／「小児の抗菌薬薬物動態の特徴」

国立成育医療研究センター

生体防御系内科部 感染症科 医長 庄司 健介 先生

対 象／院内職員及び宮城県立こども病院登録医療機関職員等

連 絡 先／宮城県立こども病院 地域医療連携室 真嶋智彦

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3番17号

電話番号:022-391-5115 FAX:022-391-5120

E-mail: tiiki@miyagi-children.or.jp

標記の研修会以外、年度内に、臨床遺伝カンファランス等の開催を予定しております。詳細が決まり次第、当院ホームページ(<http://www.miyagi-children.or.jp>)に掲載しますとともに、メールアドレス登録済みの先生方へ電子メールでご案内いたします。登録医の先生でメールでの当院の地域医療研修会の案内を希望される方は、E-mail(tiiki@miyagi-children.or.jp)によりお知らせください。なお、PCメールのみの対応とさせていただきます。

### 宮城県立こども病院 地域医療連携室 室長 虻川 大樹

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3番17号 開室時間／月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)8:30～17:00

TEL : 022-391-5115(直通) FAX : 022-391-5120(直通) E-mail : tiiki@miyagi-children.or.jp

## 部門紹介



## 診療情報室

診療情報室室長 白根 礼造

診療情報室の業務は、2013年1月に電子カルテが導入されたことで、紙カルテを中心とした“もの”の管理から、“情報”の管理へと大きく変わりました。DPC調査データの作成や院内がん登録、医療の質の指標(クオリティインジケータ)を通じてデータの質の向上を目指したデータの標準化や指標の公表にも取り組んでいます。また、この集まったデータを病院のマネジメントに活用する組織としてDPCマネジメントチームを立ち上げ、診療情報室だけではなく診療部、看護部、事務部の多職種で構成されたチームで毎週データを根拠とした議論を行い、施設基準の見直しや現場への業務効率化の提案などを行っています。多職種チームの活動で、問題点が明確になり改善も図りやすくなりました。

今後は、より解析の範囲と精度を高めたデータを活用し、病院内だけではなく東北地方における当院の役割をマネジメント出来るよう目指していきます。



前列中央白根室長とスタッフの皆さん

## ボランティア 紹介



# 開院15周年ボランティア祭

ボランティアコーディネーター 佐藤 直子

「つなげよう15周年」をメインタイトルに据え、サブタイトルは「ボランティア活動のあゆみを大切に、共に新たなステージへ」のもと、盛大にボランティア祭が開かれました。

当日は小雨にも関わらず開会前からたくさんの人が集まり、長沼実行委員長、今泉院長の挨拶の後、展示、バザー、お茶席が一斉にオープンしました。入院中の保護者の方にもお声がけしてボランティアと職員も一体となりにぎやかで楽しい祭りとなりました。

展示は足跡を示す年表やプロ顔負けの油絵、写仏画、陶器、キルト作品等が並び、バザーは手作りのバッグ、マフラー、スネークギャラリー作者による絵はがき等が所狭しと並び、一角には緑のボランティアが1年手塩にかけたラベンダーから作成した香り豊かなコロン、オイル、サシェが人々の目を奪いました。お茶席では野点傘のもと、お抹茶の凛として優雅なひと時が楽しめました。後片付けも協力して行い、あっという間に日常の世界に戻したのも見事でした。その後のマクドナルドハウスせんだいでの懇親会も伊藤商店のラーメンや宮城県出身の歌手翼さんの歌で大いに盛り上がりました。皆様のご協力とパワーに心より感謝いたします。

長沼実行委員長のあいさつ



バザーの様子



展示会の様子



お茶席の様子



## 行事

- 6月 3日(月) まほうの広場コンサート(二胡の演奏)
- 6月 12日(水) クリニクラウン訪問(本館4階、外来)
- 6月 26日(水) お抹茶を楽しむ会(本館3階)
- 7月 1日(月) 「書・アートに親しもう」書家・日野薫さん訪問
- 7月 4日(木) まほうの広場コンサート(横笛の演奏)
- 7月 10日(水) お抹茶を楽しむ会(本館2階)
- 8月 9日(金) こども病院夏祭り



## 編集後記

新しい年度がスタートし、早くも3か月が過ぎようとしています。この3か月間は、天皇陛下の退位や新しい元号の始まりなど、時代の変化を肌で感じる事が出来ました。

宮城県立こども病院は、昨年11月に開院15周年を迎え、人間と言えば高校1年生になりました。高校生といえば、幼少期からの夢や希望をどのように実現していくか悩み、さまざまな壁にぶつかりながら成長する時期でもあります。こども病院も大きな目標である「すべての子どもにいのちの輝きを」、「元気のでるファミリーホスピタル」の実現を目指し、更なる進化が求められています。

さて、今回の広報紙「いのちの輝き」では、開院15周年を迎えたこども病院の“今”をお届けしたいと思います。部門紹介では、診療情報室が中心となって行っている新たな取組みについてご紹介しています。日々進化するこども病院に是非ご期待ください。

(経営企画課 藤本 尚子)

## 地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126

宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17

TEL : 022-391-5111

FAX : 022-391-5118

<http://www.miyagi-children.or.jp/>

## 広報委員会

委員長 田中 高志  
広報委員 武山 淳二  
村上 則子  
横山麻依子  
真嶋 智彦  
藤本 尚子

蛇川 大樹 佐藤 亮 小畑 正子 原山千穂子  
高橋 美紗 町井 祐輔 本田 天斗 秋山 佳子  
工藤 久江 大塚 有希 佐藤 慎 外山 理江  
猪狩 菜緒 鈴木 敏也 遠藤 幸春 岩崎かおり



環境に優しい  
ベジタブルインキと  
再生紙を使用しています。



古紙配合率100%再生紙を  
使用しています。